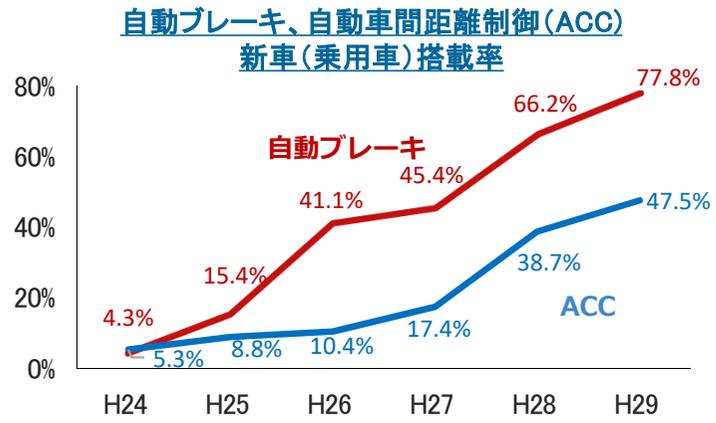


OBD検査の開始に向けた準備状況

OBD検査の概要

車載式故障診断装置を活用した自動車検査手法のあり方について(平成31年3月13日)より

- 近年、自動ブレーキなど自動運転技術の進化・普及が急速に進展しているが、故障した場合には、**誤作動による重大事故等**につながるおそれがあることから、**自動車の検査等を通じた機能確認が必要**。
- 現在の**自動車の検査(車検)**は、外観や測定器を使用した機能確認により行われているが、自動運転技術等に用いられる**電子装置の機能確認には対応していない**。



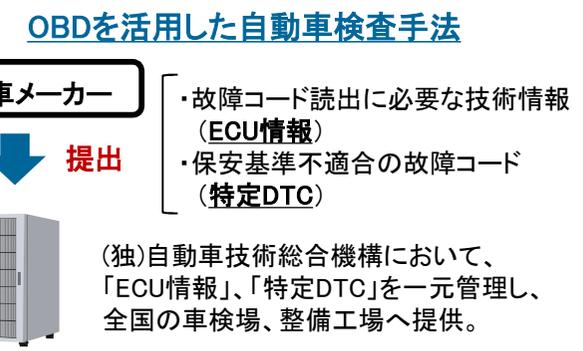
- ### 電子装置の不具合事例
- **ACC**を使用して高速道路を走行中、突然、機能が停止し、強い回生ブレーキが作動。
⇒ **前方監視用のカメラが偏心していた**
 - 上り坂を走行中、**自動でブレーキが誤作動し、急減速した**。
⇒ **自動ブレーキのレーダセンサの取付角度が設計値より下向きになっていた**
- ➡ **現在の車検では検出できない不具合**

- ### 諸外国の状況
- EU**
- 加盟国に対して**電子装置**を含めた検査実施を推奨(EU指令 2014/45EU)。
 - **ドイツ**では2015年よりOBDを用いた検査を開始、段階的に拡大中。
- 米国**
- 33の州・地区においてOBDを活用した**排出ガス検査**を実施中。

車載式故障診断装置(OBD)を活用した自動車検査手法

車載式故障診断装置(OBD)とは

最近の自動車には、電子装置の状態を監視し、故障を記録する「**車載式故障診断装置(OBD: On-Board Diagnostics)**」が搭載されている。



対象車両・装置及び検査開始時期

対象
2021年10月以降の新型の乗用車、バス、トラック※1

①**運転支援装置**※2
アンチロックブレーキシステム(ABS)、横滑り防止装置(ESC)、ブレーキアシスト、自動ブレーキ、車両接近通報

②**自動運転機能**※2
自動車線維持、自動駐車、自動車線変更など

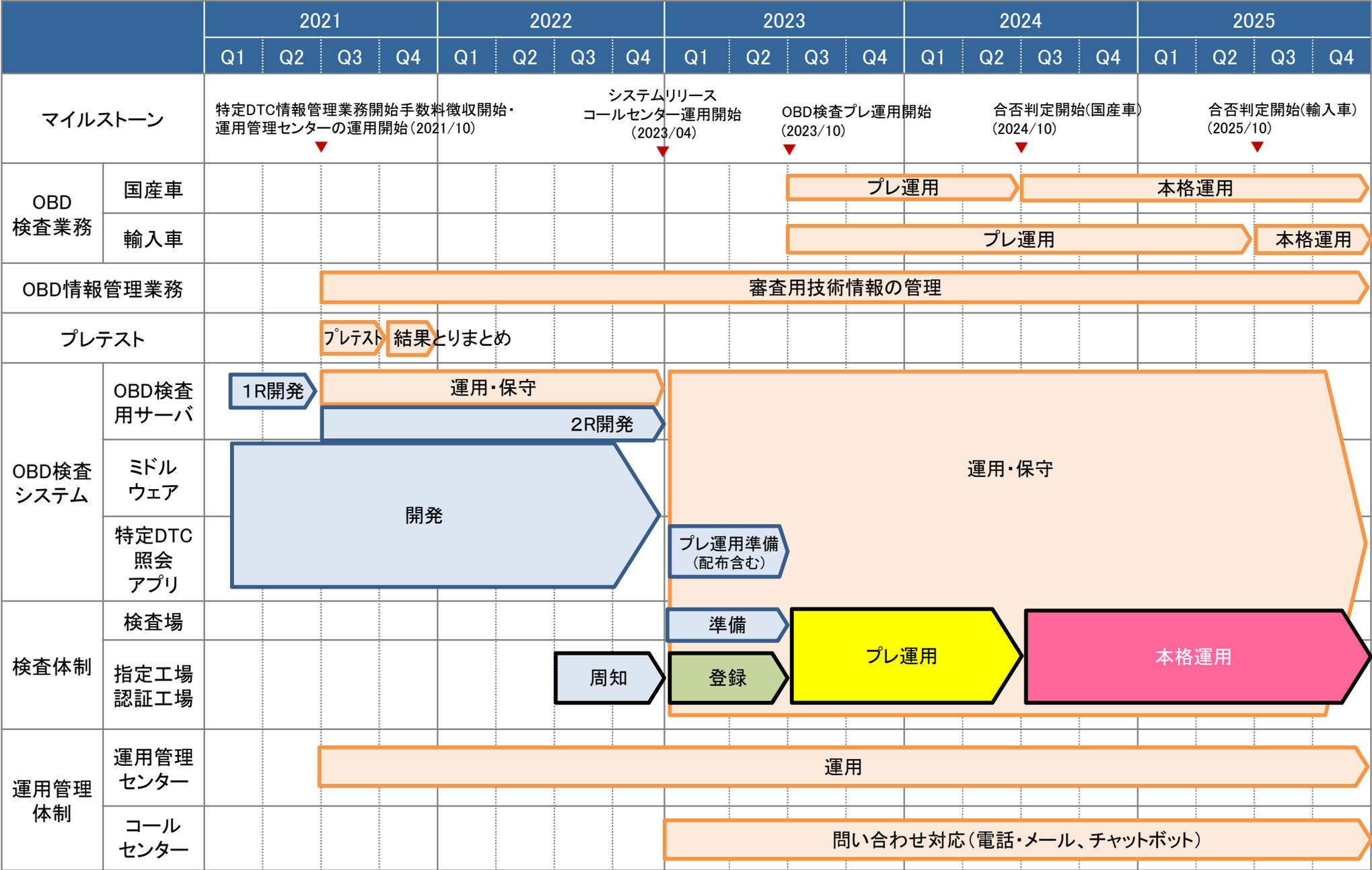
③**排ガス関係装置**

検査開始時期
2024年10月※3

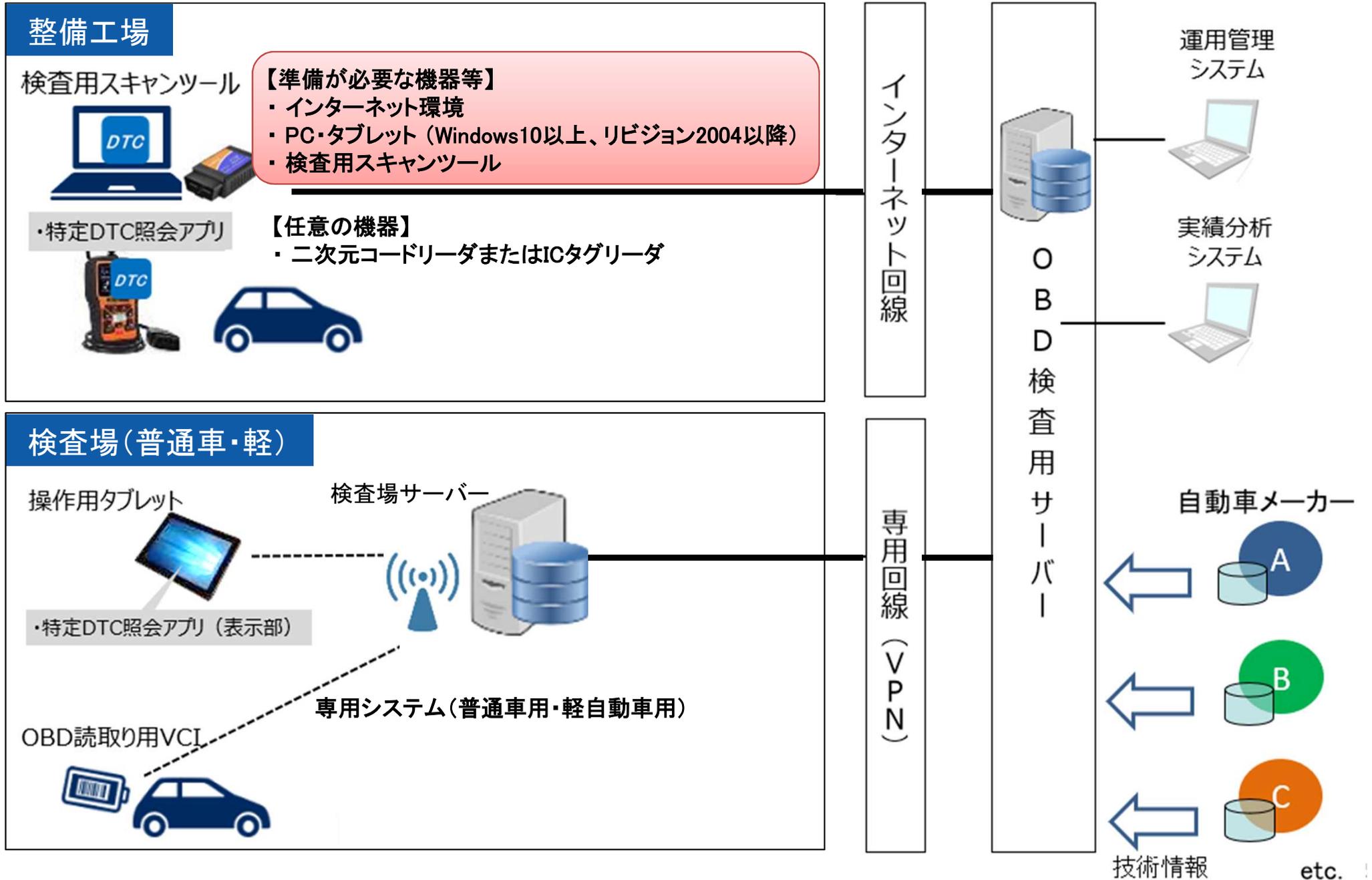
※1 型式指定自動車・多仕様自動車に限る。輸入車は2022年以降の新型車
※2 保安基準に規定があるものに限る。
※3 輸入車は2025年10月

OBD検査の実施スケジュール

【凡例】  : OBD検査に向けた準備業務
 : OBD検査の運用にかかる業務



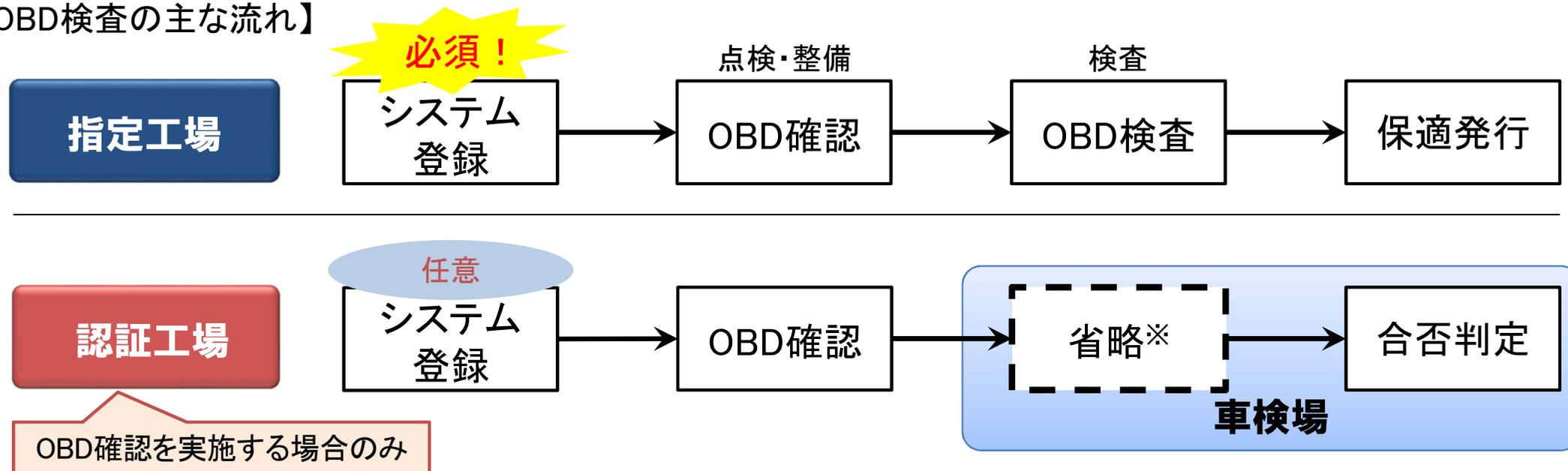
OBD検査システムの構成



指定工場・認証工場別の特定DTC照会アプリの機能等

- 特定DTC照会アプリでは、権限に応じて「OBD検査」「OBD確認」2つのモードが存在します。
- 「OBD検査」モードは、検査員が、OB

【OB



注) 検査場では検査職員がOB検査を実施。
準備は義務ではないが、準備をすればOB確認が実施可。

※一定の割合等により抜き打ち検査を実施する場合あり

特定DTC照会アプリ使用方法（モードの選択）

○ 特定DTCアプリを立ち上げ、「メニュー」画面（スタート画面）より、利用するモードを選択。

モード	利用者	用途
OBD検査	検査員	法令に準拠してOBD検査を実施する際に使用。
OBD確認	工員または検査員	受入点検時等に、OBD検査と同等の確認を行う際に使用。

メニュー 事業場：OBDモータース港支店
利用者：交通 ゆうき 様 画面イメージ

利用するモードを選択してください。

OBD検査 **OBD確認** よくある質問 パスワード変更 設定

お知らせ

特定DTC照会アプリ更新情報 **NEW** **重要** 2024年12月21日

2025年1月2日より、XXXの機能の運用を開始します。
システムの変更内容については、添付資料を参照してください。

添付ファイル

- [操作手順（改版）.pdf](#)

メンテナンス情報 **NEW** **重要** 2024年12月20日

お知らせ内容 1

2025年1月1日午後20時～2025年1月1日午後24時の間、システムの定期メンテナンスを実施します。
メンテナンス中は、OBD検査の実施、及び、利用者管理システムはご利用できません。

添付ファイル

- [更新に伴う変更内容について.xlsx](#)

特定DTC照会アプリ使用方法（OBD検査・確認の実施）

- ① 車検証情報読取ボタン：車検証二次元コード等を読み取り、車台番号等を入力。
- ② 検査要否確認ボタン：入力された車両情報からOBD検査対象車かを判定。
- ③ OBD検査開始ボタン：OBD検査を開始。

事業場：OBDモータース港支店
利用者：交通 ゆうき 様

OBD検査モード

検査用スキャンツール 必須 VCI - 1

①で入力した情報を表示

① 車検証 二次元コード読取 | 電子車検証 ICタグ読取 | 車両情報 手入力

車台番号 ZZZ-123456789 | 型式 3BA-ZZZ01
リコール情報参照

類別区分番号 0001 | 燃料の種類 ガソリン
諸元表参照

入力内容クリア

②によりサーバーから取得した情報を表示

② 検査要否確認

結果 OBD検査要 | 車名 ナルテック
データリンクコネクタの位置表示

前回判定結果 - | 前回判定時刻 -
OBD実施履歴参照

位置詳細表示
※この型式には複数の位置情報が存在します。

③による検査結果を表示

③ 実行

検査結果/確認結果
不適合

判定時刻

結果詳細表示 | 中止
結果詳細CSV出力
帳票PDF出力
次の車両 >

特定DTC照会アプリ使用方法（結果詳細の確認）

OBD検査結果詳細

整備工場：第〇〇〇〇号〇〇〇〇〇〇〇〇工場
ユーザ名：山田 太郎

画面イメージ

詳細内容を確認してください。

検査/確認

車台番号

型式

類別区分番号

燃料の種類

不適合

排ガス (J-OBD II)

電圧	○	12.3v
MIL	○	OFF
レディネス	○	適合
通信	○	成立
特定DTC	○	適合

安全

通信	○	成立
特定DTC	×	不適合

特定DTC 999件 6件まで表示：全ての特定DTCを見る場合は、右のボタンから

区分	ECU名称等	コード	名称
安全	VSA_M1	X9999-99	テスト1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 ...
安全	VSA_M1	X9999-99	テスト2
安全	VSA_M1	X9999-99	テスト3
安全	VSA_M1	X9999-99	テスト4
安全	VSA_M1	X9999-99	テスト5
安全	VSA_M1	X9999-99	テスト6

レディネスコード 3個中2個完了

触媒

エンジン失火検知システム

酸素センサ又は空燃比センサ

排気ガス再循環システム

燃料供給システム

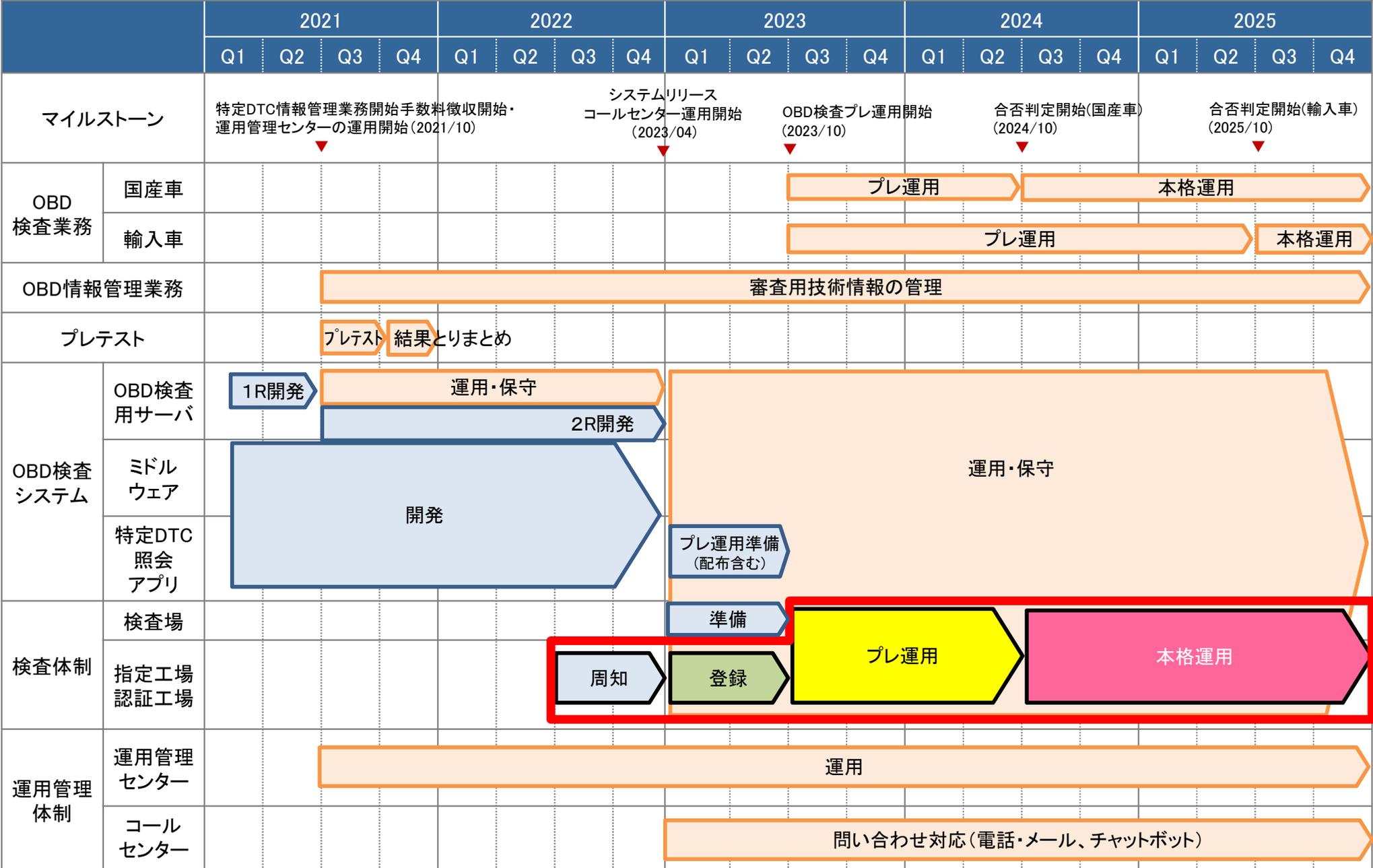
排気二次空気システム

読み出した特定DTCを表示

適合・不適合の内容を表示

OBD検査の実施スケジュール

【凡例】  : OBD検査に向けた準備業務
 : OBD検査の運用にかかる業務



OBD検査システムのリリース

- 令和5年4月21日、OBD検査システムをリリースしました。
- システムリリースしたことにより、プレ運用に向けて初めに[OBD検査システムの利用のために指定番号\(認証工場の場合は認証番号\)等を入力して事業場ID申請](#)をする必要があります。

プレスリリース
令和5年4月21日

OBD 検査システムをリリースしました！

自動車技術総合機構は、令和5年4月21日12:00(正午)に「OBD 検査システム」をリリースいたしました。また、OBD 検査システムの利用方法をまとめた「OBD 検査ポータル」とお問い合わせ窓口としての「OBD 検査コールセンター」も同時開設しています。整備事業者の皆様方におかれましては、検査項目に OBD 検査が追加される令和6年10月に向けて、ご活用ください。

1. 「OBD 検査システム」のリリースについて

「OBD 検査システム」は、主に、整備事業者が OBD 検査対象車の対象装置に対して点検・整備や検査を行う際に用いるシステムです。当該システムを利用するために、事前に、システム利用申請(事業場 ID 申請)をしていただき、事業場 ID 登録が済みましたら OBD 検査アプリを検査用スキャンツールへインストールし、OBD 検査のプレ運用(令和5年10月から開始予定の OBD 検査の円滑な導入のための習熟期間)に向けた準備をお願いします。

<リリースした OBD 検査システムの全体概要>

- ① 特定 DTC 照会アプリ…OBD 検査のための PC 用アプリ。利用者管理システムよりダウンロード可
- ② 利用者管理システム…アプリの利用者を登録・管理(事前のシステム利用申請が必要)
- ③ OBD 検査結果参照システム…アプリを用いて実施した OBD 検査の結果を閲覧(上記①～③を総称して OBD 検査システムと呼称しています。)

2. 「OBD 検査ポータル」の開設について

OBD 検査、OBD 検査システムの概要や当該システムの利用・申請方法をまとめたウェブサイトです。チャットボットでの問い合わせも可能です。

システム利用に必要な手続きの詳細については、当ポータルサイトに情報を載せていますので、こちらをご確認ください。


URL: <https://www.obd.naltec.go.jp/>

利用者管理システム

ユーザーIDをすでにをお持ちの方

ユーザーID:

パスワード:

パスワードを表示する

はじめてご利用される方

利用者管理システムをはじめてご利用される方は左のボタンから事業場の新規登録を行ってください。

利用者管理システム

お問い合わせ

事業場ID申請

事業場IDを申請する事業場の内容の入力、確認ボタンを押下してください。

申請種別 個別申請 グループ申請

事業場種別 指定工場 (OBD検査実施可) 指定工場 (OBD検査実施不可) 認証工場

事業場情報

メールアドレス: 半角で入力してください。

管理責任者名:

事業場の名称:

事業場の略称: 略称は、ログインユーザーの所属名称欄に表示されます。

事業場の所在地:

事業場の電話番号:

管轄運輸支局:

指定番号: 数字部分の一連番号を全角で入力してください。

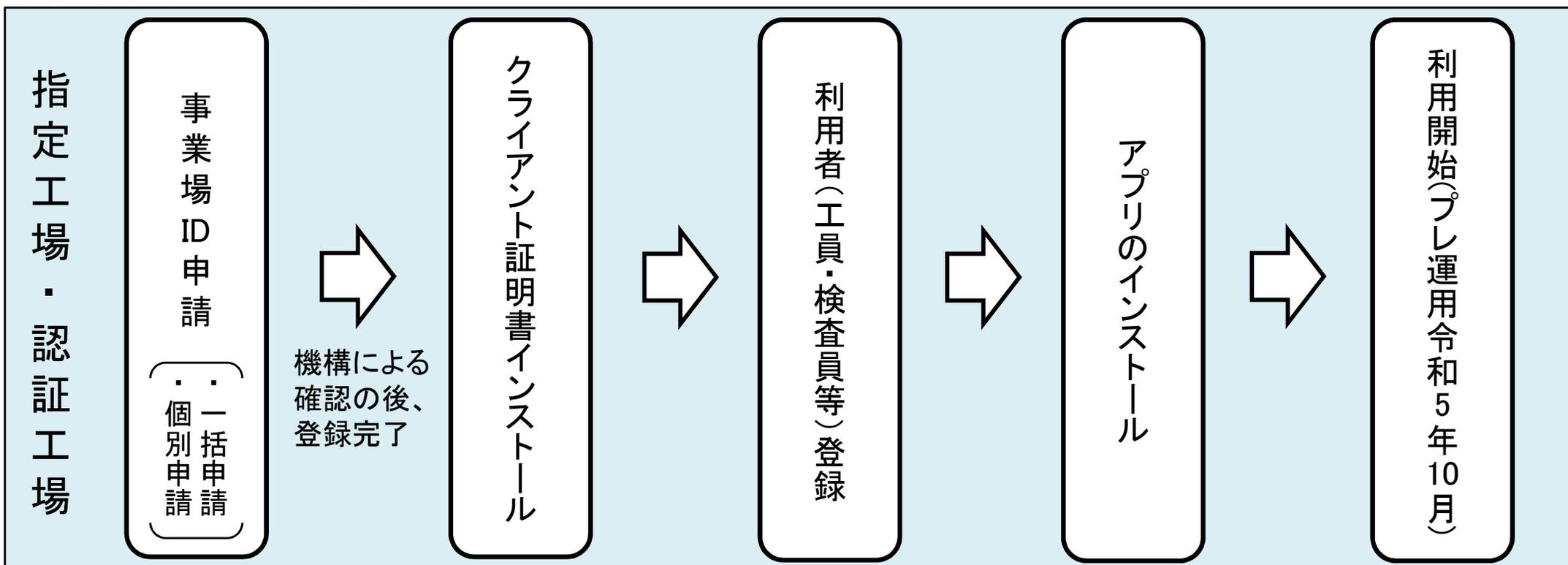
指定書の写し: ファイルを選択してください

PDFファイル・画像ファイルを添付してください。

事前準備（OBD検査システムへの登録）

- 検査用スキャンツールでOBD検査・確認を実施するためには、事前準備としてOBD検査システムの利用のために指定番号（認証工場の場合は認証番号）等を入力して利用申請したうえで、OBD検査に用いるアプリ（特定DTC照会アプリ）を使用する工員や検査員の登録をする必要があります。
- OBDシステムへの事業場登録は、一度に申請が集中すると登録までに時間を要する可能性があるため、プレ運用（令和5年10月～）や法令適用（令和6年10月～）の前後など申請が集中すると予想される期間を避け、なるべく早めの申請をお願いします。
（事業場登録や利用者登録にあたっては、検査用スキャンツール等をご用意いただく必要はありません。）

【利用開始までの流れ】



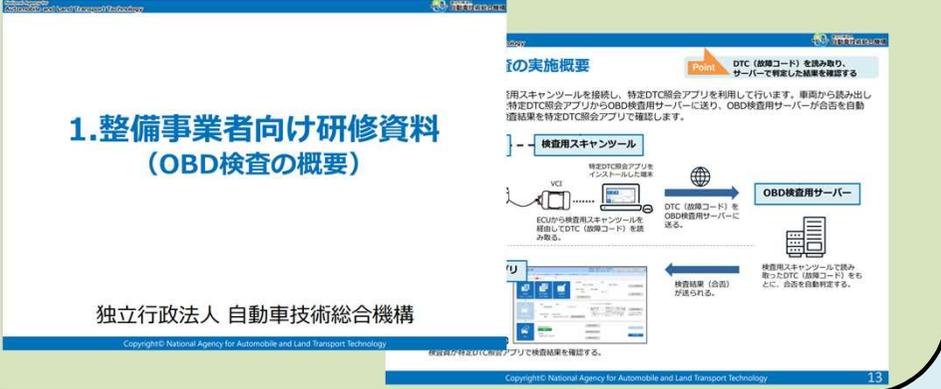
OBD検査の習熟支援

- 令和5年4月より、全国の自動車整備振興会に向けたOBD検査説明会を実施してきました。
- 今後、各振興会より、整備事業者向けの説明会が開催される予定で、要請に応じて、自動車機構から講師派遣を行います。
- このほか、同説明会で使用した教材や動画をポータルサイトに掲載していますので、いつでもご確認いただくことが可能です。

✓ 「OBD検査ポータルサイト」の習熟支援



✓ 研修教材



✓ 動画リンク

制度概要
OBD検査の準備
システムの管理
OBD検査の実施
検査結果確認



自動車整備振興会向け説明会の実績

- 全国の自動車整備振興会7ブロック及び29振興会に、計40回実施しました。
- 参加人数は、述べ約1,150人。

【説明会の風景】



・座学

OBID検査の概要及びOBID検査システムの利用開始までの手続き等について説明。



・実演

実車を用いて、特定DTC照会アプリによるOBID検査のデモンストレーションを実施。

OBID検査ポータルサイト及びコールセンターの開設

- システムリリースにあわせ、整備事業者様からのお問い合わせ対応として、[OBID検査に関するポータルサイトとコールセンターを開設](#)。
- ポータルサイトでは、OBID検査やOBID検査システムの概要についての解説、各システムを初めてインストールする際の設定方法及び操作マニュアル、よくある質問(FAQ)、OBID検査に必要な機器及び関連するサイトへのリンク等を掲載します。また、チャットボットやメールによる問い合わせ対応も行います。

✓ 「OBID検査ポータルサイト」の設置



<https://www.obd.naltec.go.jp/>

✓ 電話でのお問い合わせにも対応できる「OBID検査コールセンター」の開設



- OBID検査コールセンター
電話番号：[0570-022-574](tel:0570-022-574)
業務時間：月～金（祝日、年末年始を除く）
9:00～17:00

- 令和5年10月より、関係者の習熟等を目的としたプレ運用を開始する予定。
- プレ運用は「本運用(令和6年10月～)に向けてOBD検査の練習を重ねて慣れる期間」という位置づけであり、円滑なOBD検査実施に向け、整備事業者におかれては、積極的なご参加・ご協力をお願いいたします。
- なお、プレ運用期間中に実施するOBD検査の結果は、法令適用前であるため車検の合否に影響しません。

OBD検査のプレ運用期間中における実施概要

【整備工場】

特定DTC照会アプリを使用して、実際の車両を用いたOBD検査の実施手順の確認・練習ができます。

- ① 車両情報の入力(自動車検査証の読取)
- ② OBD検査対象車両か否かの判定
- ③ OBD検査の実施・合否判定(※プレ運用期間中は「OBD確認モード」でのみ実施可能)

【検査場(普通自動車・軽自動車)】

検査場の検査担当者が、受検するOBD検査対象車を対象に、実際にOBD検査を実施する環境での作業を行います。

- ① 自動車検査証の二次元コードを読み取り、OBD検査対象車両か否かの確認
- ② データリンクコネクタに検査用スキャンツールを接続して、検査用端末からOBD検査用サーバに照会
- ③ OBD検査用サーバが分析及び照合した結果の応答を待ち、基準適合性の判定結果を検査用端末で確認

整備工場におけるOBD検査の流れ(本運用)

車両受付(車両情報の入力)

OBD検査が必要かどうかを確認する

検査用スキャンツールを車両に接続する

車両のエンジンをONにする(ハイブリッド車等はREADY)

OBD検査を実施する

適合

不適合

アプリで検査結果を確認する

故障箇所の特定・整備

その他の検査・整備業務を実施する

OBD検査を再度実施する



完成検査時は、「OBD検査モード」で実施してください。

整備工場におけるOBD検査の流れ(プレ運用)

赤枠: 完成検査時における練習
OBD「検査」モードで実施

車両受付(車両情報の入力)

OBD検査が必要かどうかを確認する

検査用スキャンツールを車両に接続する

車両のエンジンをONにする(ハイブリッド車等はREADY)

OBD検査を実施する

適合

不適合

アプリで検査結果
を確認する

故障箇所の
特定・整備

その他の検査・整備
業務を実施する

OBD検査を
再度実施する



OBD検査開始後の運用と同様の手順で習熟していただく必要があるため、**完成検査時における練習**は、「OBD**検査**モード」で実施してください。ただし、プレ運用期間中は法令適用前なので、システム上でも「OBD検査を実施する」ことはできません。**受入点検時等**に、「OBD**確認**モード」で判定結果確認までの一連の操作の練習を行ってください。

整備工場におけるOBD検査の流れ(プレ運用)

青枠: 受入点検等における練習
OBD「確認」モードで実施

車両受付(車両情報の入力)

OBD検査が必要かどうかを確認する

検査用スキャンツールを車両に接続する

車両のエンジンをONにする(ハイブリッド車等はREADY)

OBD確認を実施する

適合

不適合

アプリで確認結果
を確認する

故障箇所の
特定・整備

その他の検査・整備
業務を実施する

OBD確認を
再度実施する



OBD検査開始後の運用と同様の手順で習熟していただく必要があるため、**完成検査時における練習**は、「OBD**検査**モード」で実施してください。ただし、プレ運用期間中は法令適用前なので、システム上でも「OBD検査を実施する」ことはできません。**受入点検時等**に、「OBD**確認**モード」で判定結果確認までの一連の操作の練習を行ってください。

検査コースにおけるOBD検査の流れ(プレ運用・本運用共通)

OBD検査の基準適合性審査は、検査担当者が次の手順により実施します。

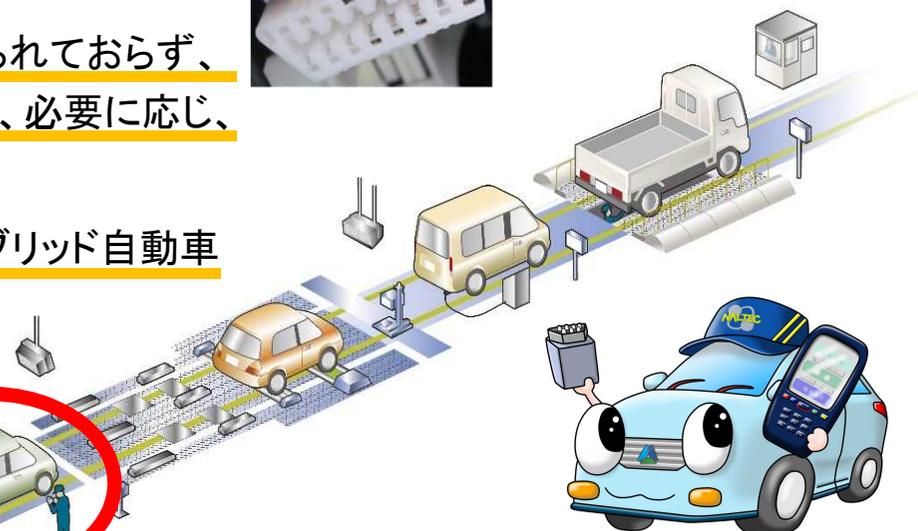
- ①検査コースの入口において自動車検査証等の二次元コードを読み取り、OBD検査が必要かどうかを、検査用端末からOBD検査用サーバに照会します。
- ②OBD検査対象車のデータリンクコネクタに検査用スキャンツールを接続して、車載式故障診断装置に記録されている情報を読み出し、検査用端末からOBD検査用サーバに照会します。
- ③OBD検査用サーバが分析及び照合した結果の応答を待ち、基準適合性の判定結果を検査用端末で確認します。

注1: データリンクコネクタへの検査用スキャンツールの接続/取外しは、原則として検査担当者が実施します。

注2: 運転者席下部などにあるデータリンクコネクタには何も取り付けられておらず、検査用スキャンツールを接続できる状態で受検してください。また、必要に応じ、データリンクコネクタ附近のカバー類の取外しをお願いします。

注3: 検査担当者の指示により、原動機の始動(電気自動車又はハイブリッド自動車は走行可能状態(READYの状態))と停止の操作をお願いします。

**OBD検査は
検査コースの入口において実施します**



受検者のみなさまへのお知らせとお願い①(プレ運用期間中)

- プレ運用期間中に受検するOBD検査対象車については、可能な限り、OBD検査の実施にご協力いただきたく、検査担当者からお声がけさせていただきます。
所要時間は、自動車からの応答状況やECUの搭載数等によって異なりますが、合計1分程度を想定しています。
検査担当者による検査用スキャンツールの接続/取り外しも含め、本運用後と同じように、実際にOBD検査を実施する環境で行いますので、手順や時間がどうなるかのイメージをご理解いただければと思います。なお、OBD検査結果は口頭でお伝えします。
- プレ運用期間中に受検する新車については、可能な限り、検査担当者によるデータリンクコネクタ位置及び構造並びに検査用スキャンツールを接続する直前までの手順の確認作業にご協力いただきたく、検査担当者からお声がけさせていただきます。
- プレ運用期間中に継続検査を受検するOBD検査対象車以外の自動車については、排出ガス関係装置に限り、OBD検査ができるようにしています。OBD検査を希望する場合には、検査担当者に申し出てください。なお、OBD検査結果は口頭でお伝えします。
※ただし、平成19年以前に製作された自動車など、一部の自動車については検査不可となる場合があります。ご了承ください。

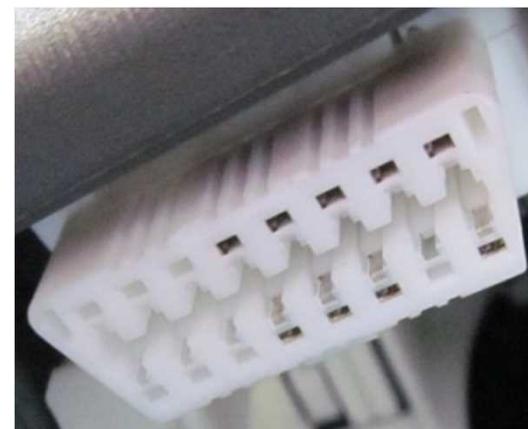
注1: プレ運用期間中に実施するOBD検査の結果は、車検の合否には影響しません。

なお、本運用後に保安基準不適合となってしまう箇所があった場合には、適切な点検・整備の実施をお願いします。

注2: OBD検査を実施してもしなくても検査費用は変わりません。

受検者のみなさまへのお知らせとお願い②(プレ運用期間中)

- OBD検査の実施にご協力いただける場合は、運転者席下部などにあるデータリンクコネクタには何も取り付けられておらず、検査用スキャンツールを接続できる状態で受検してください。また、必要に応じ、データリンクコネクタ附近のカバー類の取外しにご協力ください。



データリンクコネクタ

[自動車特定整備事業者さま]

- 検査コースでの受検前に、検査用スキャンツールを用いて車載式故障診断装置に記録されている情報を読み出し、自動車機構が開発・管理している「特定DTC照会アプリ」を経由して「OBD検査用サーバ」に照会した自動車について、きちんと通信されているかを知りたい場合には、検査担当者に申し出て下さい。

(参考)

OBD検査対象車とは？

■OBD検査対象車とは ⇒ 自動車検査証等の備考欄にOBD検査の対象である旨の記載あり
型式指定日がR3.10.1(輸入自動車はR4.10.1)以降のフルモデルチェンジ車等がOBD検査対象車となります。

ただし、型式指定自動車又は多仕様自動車以外の自動車、二輪自動車、側車付二輪自動車、大型特殊自動車は対象外となります。

■OBD検査対象装置とは

- ①かじ取装置(UN R79の高度運転者支援ステアリングシステムに係る部分に限る。)
- ②走行中の自動車の制動に著しい支障を及ぼす車輪の回転運動の停止を有効に防止することができる装置(ABS)
- ③走行中の自動車の旋回に著しい支障を及ぼす横滑りを有効に防止することができる装置(ESC)
- ④走行中の自動車の旋回に著しい支障を及ぼす横滑り又は転覆を有効に防止することができる装置(EVSC)
- ⑤緊急制動時に自動的に制動装置の制動力を増加させる装置(BAS)
- ⑥衝突被害軽減制動制御装置(AEBS)
- ⑦排出ガス発散防止装置
- ⑧電力により作動する原動機を有する自動車に備える車両接近通報装置(AVAS)
- ⑨自動運行装置

OBD検査の基準は？

■ OBD検査対象装置の車載式故障診断装置に記録されている情報を読み出した結果、事例欄に該当する場合は、保安基準不適合となります。

(なお、プレ運用期間中に実施するOBD検査の結果は、車検の合否には影響しません。)

装置の種類	事例
排出ガス関係装置 (排出ガス発散防止装置)	<ul style="list-style-type: none">・ OBD検査対象装置の車載式故障診断装置が正常に機能するために十分な電圧が確保されていないもの・ 警告灯を点灯させるための信号(MIL信号)が出力されているもの・ 1つもレディネスコード(故障診断の前提条件が成立していることを示すコード)が記録されていないもの・ 当該装置に係る特定DTC(OBD検査対象装置が細目告示第一節に規定する基準に適合しなくなると識別できるコード)が1つ以上記録されているもの・ 上記項目に該当するかどうかの判定に必要な情報がOBD検査対象装置の車載式故障診断装置から読み出せないもの
安全関係装置 (排出ガス発散防止装置以外の装置)	<ul style="list-style-type: none">・ 当該装置に係る特定DTCが1つ以上記録されているもの